

E-quality 大学 個性的小規模大学連携による地域活性型 e-quality 仮想的大学の創生

連携大学 代表校 山口県立大学
山口東京理科大学、山口学芸大学



e-quality 仮想的大学って何？

e-quality 仮想的大学とは、山口県立大学、山口東京理科大学、山口学芸大学の3大学が中心となり、インターネットなどのネットワークを通して、県内の高等学校や試験研究機関などと連携することでつくられる一つの大きな大学のことを言います。このe-quality 仮想的大学は、大学生だけでなく、高校生や地域住民に対しても開かれており、幅広くアクセスすることができる学習空間を提供します。地域に生き、学び、輝く学生を育み、地域を活性化をすすめることがe-quality 仮想的大学の目的です。



高大連携

高校生には大学での学習に興味を持ってもらえるように学び楽しさを伝え、大学生へは大学での学習を進めていくために必要な知識や能力などの育成を目指した初年次教育を行います。高校から大学への変化にスムーズになじんでいけるような協力体制を整え、学士力を養成する基盤を整備します。このことが、地域人材のたまごである高校生を地域活性化につながる地域人材へと育成していくための基礎となります。

教育・研究連携

大学同士が連携し得意領域を提供しあうことによって、より高度で効果的な教育を展開することを目指しています。大学間の連携は学生にとっての幅広い教育の保証となるだけでなく、各大学の教職員が交流を深めることで、教職員らのスキルアップ効果が期待でき、各大学の特色をふまえた教育の質の向上を図ることができます。

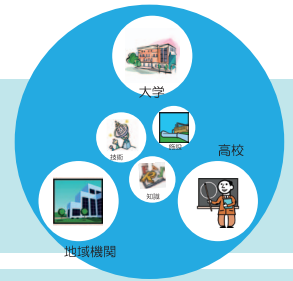
地域連携

学生が自分たちの生活の場である地域を教材として学ぶことにより、地域の実態を知ることができ、地域課題の解決に向けた提言などを行うことを目指しています。また地域住民に向けた公開講座なども行う生涯学習も担っています。これらの取組は学生の学びが地域の活性化につながり、地域の活性化が学生や地域住民の生活を豊かにするという発展のサイクルが期待されています。

連携のポイント

各大学が行ってきた魅力的な取り組みを共有する

- ・特色の異なる大学や地域のさまざまな連携機関の知識・技術・施設などの既存のシーズを共有し、更に魅力的な取り組みを積極的に行うため、体制を整え、取組の充実と効率化を図ります。



①高校との連携

- ・高校生の大学授業参観
- ・積極的な公開講座の開催
- ・高校と大学の教員による教材の共同開発
初年次教育の充実



高校と大学の教員による教材開発



高校生の授業参観



高校生対象夏季公開講座の様子

②三大学が協力して築く教育の質の向上

- ・地域学の実施
- ・単位互換制度の充実
- ・教員を育てるための積極的な研修の開催（FD）
- ・職員を育てるための積極的な研修の開催（SD）
- ・地域のさまざまな機関との連携協定



地域学



三大学合同FD研修会



三大学合同SD研修会



地域学開講基調講演

③産業・行政・教育機関・地域の連携による地域の活性化

- ・地域のさまざまな連携機関（山口市・山口県産業技術センター等）と共同で地域課題解決に貢献できるよう、研究・教育を展開し、地域の活性化のために成果を還元します。



秋吉台・周防大島へのフィールドワーク



本事業の技術を使って
中継する講演